

1. 科目名 (単位数)	音楽芸術 I (2 単位)		3. 科目番号	SJMP1320						
2. 授業担当教員	松本 岳志									
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期							
6. 履修条件・他科目との関係	特になし									
7. 講義概要	本科目では、日本音楽史「近代・現代」における歌曲（童謡や唱歌等）を中心に取り上げます。それぞれの時代を代表する楽曲を歌唱するだけでなく、それらが生まれた時代背景についても学習し、作詞者・作曲者の思いや意図を深く理解しながら、学習者自らの歌唱表現力向上を目指します。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の代表的な歌曲（童謡や唱歌）を歌唱することができるようになる。 2. 歌唱力や表現力を高める。 3. 歌唱する歌曲が生まれた時代背景や作詞者・作曲家について理解する。 									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学期末にレポート提出を課す。 2. 学期末に授業内発表を実施する。 3. 毎回、日本を代表する歌曲について学習していく。事前にそれら楽曲の譜読みを必ず行うこと。 									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「明日へ歌い継ぐ 日本の子どもの歌：唱歌童謡 140 年の歩み」全国大学音楽教育学会編著 音楽之友社 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の動揺 200 選」日本童謡協会編 音楽之友社 ・「図解 近現代日本音楽史」田中健次著 東京堂出版 ・「音楽教育入門 基礎理念の構築」編著者：河口道朗 音楽之友社 									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の代表的な歌曲（童謡や唱歌）を歌唱することができるようになったか。 2. 歌唱力や表現力を高めたか。 3. 歌唱する歌曲が生まれた時代背景や作詞者・作曲家について理解したか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>2. 歌唱曲の発表</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>3. 事前・事後学習を含む授業への取り組み姿勢</td> <td>40%</td> </tr> </table>				1. レポート	20%	2. 歌唱曲の発表	40%	3. 事前・事後学習を含む授業への取り組み姿勢	40%
1. レポート	20%									
2. 歌唱曲の発表	40%									
3. 事前・事後学習を含む授業への取り組み姿勢	40%									
12. 受講生へのメッセージ	本科目は、日本で明治期以降に愛唱され、また教科書にも教材として掲載されている芸術性の高い日本歌曲を主に学ぶ授業です。これらの中には現代語ではない（古い言葉による）歌詞の曲が多いことから、ある程度の日本語力が求められます（N2 程度の力がないと理解が困難）。また、この科目は一般教養科目ではなく専門教育科目ですから、履修するにあたり基礎的な歌唱力及び読譜力も求められます。最後に発表を行いますから、学んだ歌曲の練習をする習慣を身に付けてください。									
13. オフィスアワー	初回授業にて周知します。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション 岡野貞一：「故郷」	事前学習	「唱歌」と「童謡」について調べておく。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 2 回	岡野貞一：「春が来た」「春の小川」「朧月夜」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 3 回	岡野貞一：「紅葉」 井上武士：「海」 草川信：「夕焼小焼」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 4 回	文部省唱歌：「茶摘」「虫のこえ」「冬景色」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 5 回	瀧廉太郎：「荒城の月」「花」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 6 回	本居長世：「七つの子」 山田耕筰：「赤蜻蛉」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 7 回	山田耕筰：「からたちの花」「この道」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 8 回	中田章：「早春賦」 中山晋平：「シャボン玉」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。							
第 9 回	引田龍太郎：「こいのぼり」 成田為三：「浜辺の歌」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。							
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて							

			て表現力豊かに歌唱できるようにする。
第10回	平井康三郎：「とんぼのめがね」 團伊玖磨：「花の街」、「ぞうさん」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第11回	中田喜直：「めだかの学校」「かわいいかくれんぼ」 「ちいさい秋みつけた」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第12回	中田喜直：「夏の思い出」「雪の降るまちを」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第13回	大中恩：「いぬのおまわりさん」 山本直純：「一年生になったら」「歌えパンパン」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第14回	芥川也寸志：「ことりのうた」 湯山昭：「あめふりくまのこ」「おはながわらった」	事前学習	授業回で扱う歌曲の譜読みをしておくこと。
		事後学習	授業内で扱った歌曲を復習し、気持ちを込めて表現力豊かに歌唱できるようにする。
第15回	発表会 まとめ	事前学習	発表に向けた練習をしておくこと。
		事後学習	代表的な日本の歌曲や作詞者・作曲者に関するレポートに取り組むこと。